

科目内容

| | |
|---------|---|
| 領域名 | リハビリテーションに関する領域 |
| 科目名 | 生活支援のための運動学 |
| 教育目的 | ・介護福祉士として生活支援に必要な運動生理及び運動学を理解し、支援することができる力を育成する。 |
| 到達目標 | ・筋・骨・関節など運動器系や脳・脊髄・末梢神経など神経系の解剖・生理機能を理解し、支援に活用できる。 ・関節可動域や関節運動などヒトの基本的な動きについて理解し、支援に活用できる。 ・日常の諸動作の中で、身体各部の相互関係を理解し、支援に活用できる。 |
| 時間数 | 10時間 |
| 含むべき内容 | ○身体表面のランドマークの名称 ○骨、関節、筋、中枢神経、末梢神経などの解剖・生理 ○内部器官の運動時の生理 ○身体運動の基本的知識（関節可動域、筋力、運動の方向、動作、活動） ○運動の基本的な力学的考え方（モーメントなど） ○摂食嚥下における解剖・運動生理 |
| 留意事項等 | ○集合研修（講義）又は課題学習によって研修を展開する。 |
| 課題学習の可否 | 全部可・一部可・否 ※通信学習（e-ラーニングやビデオ学習を含む）の手法も可 |
| 修了評価の方法 | 筆記試験（50問程度、100点満点中60点以上が合格）、レポート 【特記事項】この科目は自己学習で試験だけを受けることができる。 |
| 受講要件 | 特になし |
| 講師要件 | ・当該科目における十分な知識・専門性を有し、講師等の教育経験があること ・修士課程を修了していることが望ましい ・日常業務で介護福祉士と共に働いた経験のあるリハビリテーション専門職（理学療法士・作業療法士・言語聴覚士等）、または、日本専門医機構が認定するリハビリテーション科専門医が望ましい |